

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【公表番号】特表2002-523036(P2002-523036A)

【公表日】平成14年7月30日(2002.7.30)

【出願番号】特願2000-566305(P2000-566305)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 61 K	31/711	(2006.01)
A 61 K	39/395	(2006.01)
A 61 K	48/00	(2006.01)
A 61 P	7/00	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
C 07 K	14/745	(2006.01)
C 07 K	14/78	(2006.01)
C 07 K	19/00	(2006.01)
C 12 P	21/02	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
A 61 K	31/711	
A 61 K	39/395	Y
A 61 K	48/00	
A 61 P	7/00	
A 61 P	35/00	
A 61 P	43/00	1 0 5
C 07 K	14/745	
C 07 K	14/78	
C 07 K	19/00	
C 12 P	21/02	C
C 12 N	5/00	B
A 61 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月23日(2006.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

新脈管形成インヒビター活性を有するホモ二量体融合タンパク質であって、該ホモ二量体融合タンパク質は、免疫グロブリンFc領域および標的タンパク質からなり、該Fc領域は、ヒンジ領域、CH2領域およびCH3領域を含み、そして該標的タンパク質は、アンギオスタチンまたはエンドスタチンの新脈管形成インヒビター活性を有し、そしてプラスミノーゲンフラグメントまたはコラーゲンXVIIIフラグメントであり、そして該免

疫グロブリン Fc 領域の N 末端または C 末端に連結している、ホモ二量体融合タンパク質。

【請求項 2】

前記標的タンパク質が、エンドスタチンまたはアンギオスタチン、あるいはそれらの生物活性フラグメントである、請求項 1 に記載のホモ二量体融合タンパク質。

【請求項 3】

前記標的タンパク質が、配列番号 4 または配列番号 11 に記載されるアミノ酸配列を含む、請求項 2 に記載のホモ二量体融合タンパク質。

【請求項 4】

前記標的タンパク質が、前記 Fc 領域の C 末端に結合している、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のホモ二量体融合タンパク質。

【請求項 5】

第 2 の標的タンパク質をさらに含み、該第 2 の標的タンパク質が、プラスミノーゲンフラグメントまたはコラーゲン X V I I I フラグメントであり、そしてアンギオスタチンまたはエンドスタチンの新脈管形成インヒビター活性を有する、請求項 1、2 または 3 に記載のホモ二量体融合タンパク質。

【請求項 6】

前記第 2 の標的タンパク質が、エンドスタチンまたはアンギオスタチン、あるいはそれらの生物活性フラグメントである、請求項 5 に記載のホモ二量体融合タンパク質。

【請求項 7】

前記第 2 の標的タンパク質が、前記第 1 の標的タンパク質に、ポリペプチドリンクによって連結されている、請求項 5 または 6 に記載のホモ二量体誘導タンパク質。

【請求項 8】

前記第 1 の標的タンパク質が、前記 Fc 領域の C 末端に結合しており、そして前記第 2 の標的タンパク質が、該 Fc 領域の N 末端に連結されている、請求項 5 または 6 に記載のホモ二量体融合タンパク質。

【請求項 9】

前記第 1 の標的タンパク質が、エンドスタチンであり、そして前記第 2 の標的タンパク質が、アンギオスタチンまたはその生物活性フラグメントである、請求項 5 ~ 8 のいずれか 1 項に記載のホモ二量体融合タンパク質。

【請求項 10】

前記免疫グロブリンが、IgG1 である、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のホモ二量体融合タンパク質。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載のホモ二量体融合タンパク質をコードする、DNA 分子。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載のホモ二量体融合タンパク質の発現のためのベクターであって、該ベクターは、哺乳動物細胞において複製可能であり、そして請求項 11 に記載の DNA、およびシグナルペプチドをコードする DNA 配列を含む、ベクター。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載のホモ二量体融合タンパク質を生成するための方
法であって、以下の工程：

- (a) 哺乳動物細胞を、請求項 12 に記載のベクターでトランスフェクトする工程；
- (b) 該哺乳動物細胞を培養して、該融合タンパク質を生成させる工程；および
- (c) 該融合タンパク質を単離する工程、
を包含する、方法。